



上志津原 たより

発行日 : 平成26年1月15日発行
編集発行 : 上志津原町会 広報係
発行責任者 : 町会長 鈴木 稔

新年のご挨拶

上志津原町会長 鈴木 稔



町会の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年中は、上志津原町会行事に多くの皆様のご参加ご協力いただき、ありがとうございました。

昨年の行事は、盆踊り、運動会と、雨とのにらみ合いましたが、ついに運動会の時は負けてしまい、一週間延期をしました。それでも、町会員の皆様の多くのご参加をいただき、無事に終える事が出来ました。本当にありがとうございます。

今年も一月十二日の町会新年会を始まりとして、残りも三ヶ月ですが、防災・防犯に注視して、安全・安心な上志津原であるように、皆様と力を合わせて役員一同がんばってまいります。

皆様のご健勝とご多幸を願って新年の挨拶と致します。



防災フェスタ

12月1日(日)、『防災フェスタ』が開催されました。午前の『防災訓練』は、体験型の防災訓練で内容が充実。午後の『フェスティバル』は、「お餅つき」や出店があり、楽しくておいしい！一度訪れたら、毎年行きたくなるのではないのでしょうか。



不審者から子供を守る(寸劇)



ぷは〜！



苦しかった〜！



『煙体験ハウス』に入ると、中は煙で真っ白で何も見えず、目の前にいる子どもの姿も見えないのです。吸っても害のない煙になっていますが、ハンカチなどで口をふさがないと、やはり苦しい。これが実際の火災だったら、パニックにならずにいられるのか・・・



ごほん、ごほん... 鼻が出来ない...

応急処置(AED・心臓マッサージ)の流れ
〈佐倉消防署〉



心臓マッサージは、ヒジを伸ばして体重をかけるようにしてください。

- 《消火訓練》
1. 「火事だ〜！」と叫ぶ
 2. 安全栓(黄色いピン)を抜く
 3. ホースをはすす
 4. レバーを握る



『やけど』をしたら、とにかく「**すぐ流水で冷やしてください。**」
服を脱がせる時は、(皮膚がはがれた)すい危険性がある場合**ハサミで服を切ってください。**
〈日赤奉仕団〉



わたがし、おいしい〜

午後はおまちかねのフェスティバル!

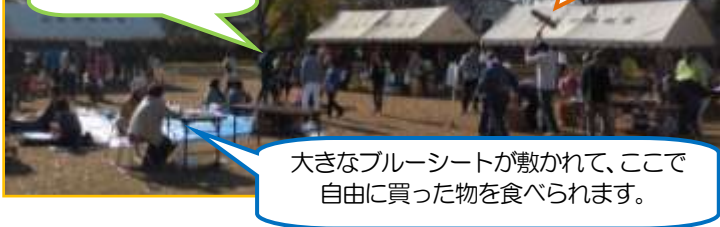
お餅・豚汁・焼きそば・フランクフルト・わたがしなどが販売されました。
(町づくり委員会・社会福祉協議会・子供会による出店)

この『つきたて』のお餅が食べられるのが嬉しい! あんこ・きなこ・黒ゴマで味わえました。



新鮮野菜の販売もしています。

お餅つき



大きなブルーシートが敷かれて、ここで自由に買った物を食べられます。

すご〜い!



子ども会バス遠足



昨年10月25日、子ども会のバス遠足がありました。今回は、『劇団四季』の『ライオンキング』を見に行ったそうです。子供達は本場の劇で何を学び、感じ取る事が出来たのか…。文化の秋に、素晴らしい体験が出来た事でしょう。



楽しかった子ども会のバス遠足

三年 村山 あおい

わたしは、子ども会バス遠足に行きました。バスでは、お母さんたちの話や、となりの人としりとりをしたりしました。そして、『ライオンキング』より前にお風こはんを食べました。「すくおおいしいね。」「うんー！」お風こはんを食べたら、もう一度バスに乗って『げきだんしき』に行きました。「トキトキするなあ。」と思つてすわっていると、ライオンキングが始まりました。さいしよは、おもしろくてわらっていました。すると「シンバ」のお父さんが死んでしまいました。わたしは、ないてしまいました。そして、シンバが大人になって国へ帰ってきて、さいごに国は平和になり、シンバは王様になりました。

「すこかったね。」「うんーすこかった。」げきが終わって、バスにもどって帰っていると、光っているスカイツリーが見えました。原公園に着くともう暗くなっていて、みんな帰りました。わたしも家に帰りながら、「まだ、『げきだんしき』に行きたいなあー。」と思いました。

いちよう並木のライトアップ

11月下旬、「いちよう並木のライトアップの写真を撮りに行かないとー！」と、夕食後に家を出ようとすると、子ども達も「こんな時間に散歩が出来る」と喜んでついてきました。

しかし、いったいどこでライトアップされているのか、何時から何時までライトが付いているのか、そもそも11月の何日何日までライトアップされているのか、何も分からない・・・とにかく『散歩』のつもりで『ふれあい通り』をひたすら歩いてみました。

上志津原十字路まで来ても、それらしき光景は見えず、ちらほら一本ずつ街灯に浮かび上がる銀杏の木はあるが、「これは『銀杏並木』とは言えないよね？まさかライトアップの時期は終わってしまった？」と一抹の不安を抱えながら千葉方面(南)へ歩いて行くと、しばらくしてぼんやりと光のかたまりが見えてきました。子ども達は興奮して並木道の黄色いトンネルの中にかけて行き、「すくすくー！」「きれいー！葉っぱが黄色く光ってるよー」と感嘆の声をあげていました。

12月のクリスマスのイルミネーションも良いですが、こんなに身近な所で自然の美しさを生かしたイルミネーションが見られるのは嬉しいかぎりです。

「来年もまた、夕食後の散歩に行ってみよう。」

そう思われる光景でした。(広報)



いちよう並木の入口から撮影

森の茶屋



今回作ったのは、この2つ。『獅子舞』と『クリスマスツリー』



ボランティアの先生方が、優しく丁寧に教えてくださいました。



2014年、うま年です。この馬は、シッポの部分ピンとはね上げると一回転して起き上がる、縁起の良い馬という事で、お土産にいただきました。

子供の発想も膨らみます



お土産にいただいた「サンタ」と『馬』を使って、子供が家で製作したもの。馬にツノを付けて『トナカイ』に変身させたようです。

12月14日(土)、森の茶屋が開かれました。今回は和紙と折り紙による製作でした。縁起物とされる『獅子舞』(最後に色紙に貼り付ける)と、『クリスマスツリー』を作りました。

ハサミやノリを使う細かい作業で、9歳と5歳の子も達を連れて行った私は、「ママ、どうやるの?」と聞かれて、てんてこ舞いでしたが、上の子はとても楽しかったようで、家に帰った後、何やら思いついた様子で作業を始め、オリジナル作品を作り上げていました(右の写真)。そして数日は、折り紙の本を出して色々な物を作っていました。

脳に良い折り紙は、子供にもご年配の方々にもとても良いもので、また、作った作品を飾るのもとても楽しいものです。我が家には、3枚の『獅子舞』の色紙が飾られ、手作りならではの『少しずつ違う顔』がとてもユニークで和ませてくれます。

『森の茶屋』は、社協の皆さんが毎回違うボランティアの方や団体を招いて、「訪れた人に楽しいひと時を過ごしてもらえよう」と催されています。コーヒーとお菓子(今回はロールケーキ)が付いて100円で、どなたでも楽しめますので、ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか?

(広報)

上志津原旅行会

『上志津原旅行会』より、昨年11月に行われた旅行の記事をいただきました。旅行会の雰囲気や、旅先の様子がよく伝わってきます。上志津原旅行会では、**会員を募集**しているそうです。ご興味のある方は、ぜひ下記の連絡先までご連絡下さい。個人で行く旅行も良いけれど、『旅行会ならではの』楽しさがあるのではないのでしょうか。



上志津原旅行会 仙台 伊達政宗 青葉山公園 2013-11-4~5

仙台・松島に行ってきました！

天下の絶景・松島へ

上志津原旅行会

十一月四日、夜半には激しい雨音が。明け方、少しうつつとうしい思いで傘をさして集合場所へ。ところがはらトピア前でバスに乗り込んだとたんにその思いは吹っ飛びました。車内はやあ、やあと、笑顔、笑顔で、和気藹々です。

午前五時四五分、バスは上志津原を出発しました。目指すは仙台・松島です。車中、カラオケなどを楽しみながらお昼に白石着。蔵王山麓の民家を解体移築したという白石温麺茶屋でおいしいうーめんを味わいました。

仙台市内で瑞鳳殿を見学、伊達政宗を祀る霊廟で、日光の東照宮のようなあでやかな建築です。バスは仙台平野を見下ろす青葉山に登り、尾根伝いにキャンパスが展開する東北大学のイチョウ並木を通り抜けて青葉山公園へ。かの有名な伊達政宗騎馬像前で記念撮影、そして松島へ。

三時過ぎに松島着。今宵の宿は松島湾沿いに七千坪の庭園を持つ最高級旅館「一の坊」です。宴会は羽山さんの手品で始まりカラオケ三昧。翌朝バスガイドさんが、天井が落ちませんでしたか、とても賑やかでしたね、と。

翌朝はお風呂場から、お部屋から、朝六時一六分の日の出を見ました。島々の間の水平線に目を凝らしていましたら、瞬間、赤い点が、と思っただらみるみる大きなお日さまになる神秘、全館全室オーシャンビューの「一の坊」ならではの天然の演出でした。

この「一の坊」、フロント等でお聞きしましたら、東日本大震災ではもちろん大きな被害を受けましたが、幸い目前の島々に守られて津波の襲来は免れ、震災後はここに復興本部が置かれ、復旧作業員の宿泊所になった、とのこと、九月には営業を再開したそうです。

二日目は五大堂を見て瑞巖寺へ。ここでは長い参道の奥深く、山門手前まで津波がきたそうです。ボランティアガイドさんの案内で昔、僧が宿坊にしたというおびただしい洞窟群などを見て廻りました。円通院のすてきなお庭を散策したあと、洗心庵で焼き立て牡蠣の昼食をいただき、松島湾の遊覧船に乗りました。

船内放送の観光アナウンスの合間をぬって売

店のおばさんが、客室正面に掲げられたスクリーン大の桂島の被害写真の前で震災時のことを話してくれました。松島湾には二六〇の島がありますが人が住んでいるのは三つ。一番多く三百人が住んでいる桂島は高さ十メートルの津波に襲われ七割の家が流出・壊滅しましたが、一人の死者も出さなかった、それはなぜか、という話に始まり、右に見えるあの仕掛けはなんでしょう、松島と言えども、と問い掛け、みんなに、かき、と言わせて、違う、のり。左に見えるのは、かき、と言わせて、違う、わかめ、というふうにならわせた。かきの仕掛けのある場所では、あつちが松島方式、こつちが広島方式という話の中に、昔はライバルであったであろう広島からの復興支援のことをにじませていました。また、岩が突き出ているあの島は、元はあの十倍の大きさだったのが削られてあんなになった、この島は、など、船内放送では語られない津波の物凄さを話してくれました。

遊覧船到着の塩釜港では唯一、建物が残ったという被災工場の笹かまぼこ屋さんでお買い物をし、帰路につきました。遠かったものの、宿といい、食事といい、見所といい、あのボランティアガイドさんの話といい、あの船のおばさんの話といい、全員、大満足ですてきな旅となりました。

同時にあの3・11の東日本大震災での東北の被害状況を今なお行く先々で共感させられる、貴重な機会にもなりました。

上志津原開拓の苦難の時代に始まったこの旅行会、今年が第五八回目でした。昔は四〇名、五〇名もの参加者があったそうですが、今回の参加者は二二名で、ここ数年、存続の危機にさらされています。こんなすてきな、楽しい旅をする旅行会ですから、上志津原の伝統行事としてこれからもなんとか続けていきたい、そのためにぜひ皆さんに参加していただきたい、と会では呼び掛けています。参加をご希望される方はお声掛けください。会費は月三千円です。

(宮武孝吉記)

【連絡先】

会長 大内 茂 (四八七) 一八一三
事務局 羽山 晃 (四八九) 四二五四

新春書初め大会

1月5日(日)、『はらトピア』にて今年最初のイベント『新春書初め大会』が行われました。参加者は、大人18名・子供7名、指導してくださったのは、松戸紫淑先生です。

新年を迎え、気分も新たに、静寂の中で一筆一筆集中し、真剣に丁寧に書き上げていく姿が印象的でした。大人の参加者は、月一回催されている『書を楽しむ会』に参加されている方が多いので、コツコツと月日を重ねることで上達されているのが、字にも表れていました。『道は好む所によつて安し』ですね。(広報)

子供達も上手です。習字の基本がしっかり出来ていて、字ものびのびと勢いがありますね！

身も心も引き締まります

会場にはブルーシートが敷かれているので、床に墨が付く心配もなく、思いっきり書けますね！



班長会より

(抜粋してお知らせ致します)

【11月の班長会より】

◎運動会について
〈会計報告〉

予算57万円
支出56万8424円
(内訳：賞品15万7833円
運営41万591円)

・寄付金の合計：33万6000円
↓差額は会計へ返金処理

〈運営について〉

- ・70歳以上の参加者が51名で、昨年度の参加者(38名)から予想して準備していた席では足りなかった。机・椅子・テントを増やした方がよい。
- ・女性に人気の『つめ放題』は、子供も参加させたため、30人くらいが参加できなかった。
- ・地区ごとの応援席がはつきりしていないため、選手集めで苦労した。
- ・グラウンドの水道が使えなかった。
- ↓グラウンド運営の方に問い合わせる。
- ・『お疲れ会』に、協力団体が参加していなかった。↓声掛けが必要
- ・運動会は開催するのが大変なので別の行事を考えてはどうか? ↓アンケートなどを活用

【12月の班長会より】

◎『赤い羽根募金』の合計：15万1346円
ご協力ありがとうございました。

◎まちづくり委員会は、発足8年。現在までに94回会議を実施。

これまで、千葉県では事例発表してきたが、今年3月に栃木県佐野市で開催される全国レベルの発表会『全国学びとまちづくりフォーラム in 佐野』から、事例発表依頼があり、参加する事になった。

新年会

1月12日(日)、『はらトピア』にて『新年会』が開催されました。食べて飲んで楽しい時間を過ごし、じゃんけん大会・ビンゴゲーム・カラオケで盛り上がりました。



町会長の挨拶



じゃ〜んけ〜んぽん!



ビンゴゲーム♪



やっぱりカラオケ♪



宴もたけなわ、すっかりくつろぎムードで、楽しく中締めとなりました



ふれあい通りのゴミ拾い

上志津原のシンボルとも言える『ふれあい通り』の並木道。春の桜はもちろんのこと、四季を通じていつでも清々しい気持ちにさせてくれます。

班長は一人あたり年2回、当番制で『ふれあい通り』のゴミ拾いをします。

いつもきれいなイメージの並木道ですが、『ゴミ拾い』を目的に歩いてみると、いつもと違った景色が見え、それはショックなものでした。

たばこの吸い殻、パンやお菓子の袋、空き缶など、ゴミが山のようにあり、あつという間に持っていたゴミ袋が膨らんで行きま

た。ゴミを一人で拾っていると非常にむなし

い気持ちになるのですが、散歩をしている方々が、「ご苦労様です」

と声を掛けてくださいました。中には、「いつも気持ち良く歩かせてもらってます。どうい

「ふれあい通り」のゴミ拾いについて、昨年やると『世界遺産』に登録された『富士山』を思い出しました。意外にも二十年の間『世界遺産登録』されてこなかった最大の理由は「登山客の捨てるゴミであまりに汚いから」でした。一人一人がマナーに気を付けて、いつまでも気持ちよく歩ける並木道であってほしいと切に願います。(広報)



◆転入・転出のお知らせ◆

転入	★ようこそ★	
西区(南ヶ丘2班)	佐藤善隆さん	11月
東区(八紘苑下)	三浦宗一郎さん	11月
東区(光ヶ丘)	藤本正明さん	1月

編集後記

1月号も無事に発行され、残すところあと一回となりました。この一年は、いつも何かに追われていたような気がするのですが、「それもあと少し」と思うと、やっぱり嬉しいのが本音です。

今年度最後の行事『新年会』も終わり、班長の皆さんも少しほっとされたのではないのでしょうか。

班長は一年で交代ですが、上志津原は行事や仕事が多く、その一年がとても長く感じられました。しかし、その一方で、総務や町づくり委員会など一年で終わらない方々もいると思うと、本当に頭の下がる思いがします。

広報も3月号の発行までは気が抜けませんが、最後までしっかりとお届け出来ればと思います。(広報)